

町村週報

(町村の購読料は会費)
の中に含まれております)

3323号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 横田真二：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697

<https://www.zck.or.jp/>

翠のめぐみ (秋田県三種町)

も く じ

随 想	情 報	情 報	フ ォ ー ラ ム	活 動
鳥取県日野町にぜひお越しください	鳥取県日野町にぜひお越しください	鳥取県日野町にぜひお越しください	飯綱町における廃校活用取組「いいづなコネク」について ―官民さまざまな主体が共同して廃校を地域づくりの拠点に― 長野県飯綱町 新任都道府県町村会長の略歴 新しい地方経済・生活環境創生交付金の活用事例の紹介 内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局 鳥取県日野町長 埴田 淳一	「地域農政未来塾」を開講（第9期生） ―将来を展望した農業・農村政策を実行できる職員を養成― 飯綱町 長野県飯綱町 新任都道府県町村会長の略歴 新しい地方経済・生活環境創生交付金の活用事例の紹介 内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局 鳥取県日野町長 埴田 淳一
(12)(10)	(12)(10)	(12)(10)	(9)(4)	(2)

コラム

地域農業を支える政策の全体像の可視化に向けて

総合地球環境学研究所 プログラムディレクター

莊 林 幹 太 郎

近年、コメの価格高騰を契機に食料安全保障への関心が急速に高まっている。その影響で、コメの流通に関する議論にとどまらず、日本の持続可能な農業生産の確保に向けた議論も活発化している。この流れの中で、「直接支払」という言葉の使用頻度が増加している。直接支払とは、原理的には政府が農家に対して直接的に財政支援を行う仕組みと定義され、英語の「Direct Payments」の直訳である。農業を支援する方法にはいくつか種類があり、農産物価格を維持する「消費者負担型」と、納税者が財政的に支える「納税者負担型」に分類される。直接支払は後者の「納税者負担型」に属し、先進諸国では1990年代半ばから農政の中心的手法の一つとなっている。しかし、実際にこの制度が直接支払と呼ばれるかは国や地域によって異なる。例えば、欧州連合(EU)では、直接支払という名称は基本的に所得を支援する政策に限定されており、原理的には直接支払に分類される「環境支払」や「条件不利地域支払(日本の中山間地域等直接支払に相当)」などは、EUの制度では直接支払とは呼ばれない。一方で、日本では、日本型直接支払に加えて畑作や水田の利活用を支えるものに、直接支払という名称が付与されているものの、それ以外にも原理的な意味合いでの直接支払は存在する。さら

に、原理的な定義には当てはまらないものの、実質的に直接支払と同様の役割を果たす財政支援策も多くある。例えば、灌漑(かんがい)施設の維持管理や土地改良事業への支援は、多面的機能支払と目的の一部を共有しているため、実質的に直接支払と同じ効果を持つ。このように、農業を支援する財政措置には多様な種類があり、各制度が複雑に絡み合っている。また、財政負担者の組み合わせも制度ごとに異なり、国単独で負担するもの、国と都道府県が協力するもの、さらに市町村も含めた三者が負担するものなど、複数のパターンが存在する。こうした複雑な構造が、地域農業の持続性を支える支援の全体像を把握することを困難にしている。

直接支払の最大の利点は、政策目的に応じて支援対象を絞り、効果的な施策を実施できる点にある。地域ごとに農業の特性やその意義が異なるため、直接支払の仕組みを各地域の状況に応じて柔軟に活用することが重要となる。そのため、地域別のデータベースを構築し、各支援制度の適用状況を可視化することが急務である。これにより、食料安全保障のみならず、農業が有する多様な機能の発揮を促進し、国・都道府県・市町村それぞれの役割を明確にする議論を深化させることが可能となると考えるからである。

写真キャプション

清らかな水に恵まれたじゅんさいの名産地、三種町。水深50cmほどの沼に小舟を浮かべ、棒で龍をとりながら手作業で摘み取る伝統の収穫風景は、夏の風物詩となっている。摘みたてのじゅんさいは、酢の物や冷やし汁などで味わうのが定番。ツルリとしたのど越しと独特のぬめりが、暑い季節にぴったりの清涼感を届けてくれる。



「地域農政未来塾」を開講（第9期生）

全国町村会

―将来を展望した農業・農村政策を実行できる職員を養成―

全国町村会（会長・吉田隆行広島県坂町長）は、5月23日、町村の農政や地域づくりの担当職員を対象とした「地域農政未来塾」の開講式を全国町村会館（東京都千代田区）にて開催した。

9期目となる今回は19名の町村職員を塾生に迎え、来年2月まで計7回の講座を開くほか、ゼミごとに行う現地調査等を通じて、地域の課題に対応した農業・農村政策を実践できる担当者の養成をめざす。

地域農政未来塾は、農業・農村を取り巻く環境が大きく変化している中、地域の実情と課題を把握し、将来を展望した農政を提案、実行できる職員を養成することを目的に平成28年度から開講している。ゼミナール形式による少人数の受講形態を採用するほか、食料・農業・農村問題をはじめ、地域づくりや自治体行政等、各界を代表する20名超の講師陣を迎え、実技・実践を含め充実したカリキュラムを学ぶことができる。

塾長を生源寺眞一（東京大学・福島大学名誉教授が務め、ゼミを担当する主任講師を小田切徳美明治大学教授、柿田みどり明治大学客員教授、



▲吉田全国町村会長

莊林幹太郎総合地球環境学研究所プログラムディレクター、中嶋康博女子栄養大学教授（五十音順）の4名が務める。

塾生は、全国の町村役場に勤務する職員を対象に募集し、選考を経て決定した19名。受講を通じた交流によるネットワーク形成も期待される。



▲生源寺地域農政未来塾長

開講式では、はじめに吉田会長が挨拶に立ち、「この未来塾は、塾生の皆さまが、それぞれの地域課題に気づくための知識や感じ取る力、課題解決策を提案するための創造力、そして行動に移す実践力などを身につけ、地元の地域づくりを担う戦力になっていただくことを目的としている。そのために、私たちは第一線で活躍する講師陣と、質の高いカリキュラムを用意している。塾生同士が研さんを重ね、互いの絆が、この先の皆さまの人生の大きな力となるよう、私たちは全力でサポートする」と述べた。

次に、生源寺塾長から挨拶があり、「今期の塾生の中には、農政以外の

活 動



▲皆川地域農政未来塾
運営委員長

続いて、4名の主任講師の紹介が行われた後、塾生を代表して山形県小国町の藤川祐子氏が挨拶に立ち、「社会福祉士として高齢者と関わる

続いて、皆川芳嗣地域農政未来塾運営委員長から挨拶があり、「当塾にはこれまで8期にわたって卒業生たちがいて、卒業後は皆それぞれの地域で活躍している。皆さまも卒業生たちのように今後町村の第一線で活躍していただけると期待している」と述べた。

仕事をしている方もいる。町村役場の職員は、自身のキャリアの中でさまざまな分野の業務を経験することが強みだと思っている。農政以外の分野で培った経験や知識、つながりを生かして論文に取り組んでいただきたい。限られた期間ではあるが、皆さまを送り出してくれた町村へ恩返しできるように、大いに学びを深めてほしい」と述べた。

中で、先人が受け継いできた農村文化や美しい風景を守っていきたくと思うようになった。また、少子高齢化や人口減少といった課題がある中で、幅広い視点から物事を見られるよう自身の見識を深めるために、この地域未来農政塾に応募した。日本の農業・農村には、異常気象、物価の高騰、後継者不足等、さまざまな課題が山積しており、時代に合わせた農業のあり方を検討していく必要があると感じている。地域農業の課題解決に向け、塾生同士助け合いながら、自ら考え、提案し、行動できる職員となるべく、懸命に取り組む」と決意を述べ、開講式は閉会した。



▲主任講師：左から中嶋氏・莊林氏・榊田氏・小田切氏



▲地域農政未来塾第9期生（後2列）と塾長、運営委員長、主任講師、来賓、事務総長



▲廃校になった2つの小学校の跡地にできた複合施設「いいづなコネクト」

長野県 飯綱町



飯綱町における廃校活用の取組 「いいづなコネクト」について

—— 官民さまざまな主体が共同して
廃校を地域づくりの拠点に ——

1 はじめに

近年、各地で、生徒児童数の減少により、小学校や中学校の統廃合が進んでいます。

このため、廃校となった学校の施設をいかに活用していくかが大きな課題となっていますが、長野県飯綱町では、地域住民、町、地域おこし協力隊、民間企業や新たに設立されたまちづくり会社等が共同し、地域づくりの拠点として生まれ変わらせる取組が行われています。

長野県飯綱町は、長野県北部、長野市の北に位置する人口約1万人の町です。東京から新幹線で長野駅まで約90分、長野駅から車で約30分、電車で約20分と交通の利便性は非常に高い場所

2 廃校活用の経緯

にあります。町の産業は主に農業で、りんご、米、桃、そば等が多く栽培されていますが、特にりんごは50種以上の多様なりんごが栽培されていて、ジュース、シードルやジャム等の加工品を含めて特産品となっており、ふるさと納税の返礼品としても人気となっています。また、飯縄山のもとの飯綱東高原ではスキー場、ゴルフ場、キャンプ場等のアクティビティ施設を活用した観光も盛んな町となっています。

飯綱町でも少子高齢化の進行により小学生数が減少し、複式学級となる可能性があるなど、こどもの教育に大きな影響があることが懸念されたため、2011年に「飯綱町教育環境あり方

フォーラム

いいづなコネクト設置までの経緯 ～地域住民組織での議論の開始～

旧三水第二小学校区
「赤東未来創造プロジェクト」

旧牟礼西小学校区
「高岡地区活性化109委員会」

赤東みらい創造プラン

高岡地区活性化プラン

利活用方針案「地域内外の多世代の人々による交流拠点」

「しごとの創業・交流拠点」
インキュベーション・イノベーション（創業
や起業を支援する施設）機能をメインとした
多世代交流型の施設

「体験・滞在型の都市交流等の拠点」
「自然」「スポーツ」「健康」をメインとし
た多様な人々等との交流人口創出型の施設

検討委員会」で議論を開始し、2013年飯綱町小学校統廃合検討委員会において、2018年3月に三水地区の第一小学校と第二小学校、牟礼地区の東小学校と西小学校をそれぞれ統合し、三水小学校と牟礼小学校とし、町内の4校の小学校を2校とする方針が決定されました。

閉校となる地区では、これまで地域の交流の場であった小学校がなくなってしまうことから、閉校後の校舎を地域の交流拠点として活用していくために地域住民と共働で検討するプロジェクトチームが設立されました。旧三水第二小学校区では「赤東未来創造プロジェクト」、旧牟礼西小学校区では

「高岡地区活性化109委員会」が組織され、男女比率を考慮したうえで20代から70代までの幅広い年齢層の住民が参加しました。

検討の結果、旧三水第二小学校区では「しごとの創業・交流拠点」としてインキュベーション・イノベーション（創業や起業を支援する施設）機能をメインとした多世代交流型の施設とする「赤東みらい創造プラン」を策定し、2016年に町に提出されました。また、旧牟礼西小学校区では「体験滞在型の都市交流等の拠点」として「自然・スポーツ」「健康」をメインとした多様な人々等との交流人口創出型の施設とする「高岡地区活性化プラン」を策定し、2017年に町に提言書が提出されました。検討過程では、各教室の具体的な用途を決定する意見もありましたが、将来的な柔軟性を確保するため、建物全体のコンセプトを提言する方針となり「地域内外の多世代の人々による交流拠点」とすることが提言されました。

3 飯綱町による施設整備

これらの提言を受けて町では、具体的プランを策定し、2018年から地方創生推進交付金を活用し、町の活性化拠点として、廃校舎の整備と運営体制づくりを進めることを決定しました。施設の愛称を公募し、旧三水第二小学校を「いいづなコネクトEAST」、旧牟礼西小学校を「いいづなコネクトWEST」とすることが決定さ

いいづなコネクトのご案内



旧牟礼西小学校

自然・スポーツ・健康がテーマ

101 泉が丘喫茶室 町の特産りんごをテーマとした自家製スイーツや、カフェランチを提供します。りんごの可能性をお楽しみください。	102 コミュニティラウンジ 広い窓と高い吹き抜けを活かした、開放的なラウンジです。おしゃべりや休憩、イベントなどでもご利用できます。	104 RINGOTO 林檎学校建設所で作られた様々なシールドを購入、試飲できます。お気に入りのシールドを見つけてください。	107 会議室（あかとう） 各種会議や打ち合わせにご利用できるスペースです。地域の寄り合いはもちろん、販売を伴うイベント利用も可能です。	201 チャレンジラボ 子どもから大人までどなたでも学び、モノづくりができる空間です。生きる力や、チャレンジするワクワク感を育てます。	204 フォクラウンジ 旧図書室の本棚をそのままに、マンガ本を置き、将来的には創造力を育む書籍をそろえ、どなたでもゆっくりと過ごせる空間です。
206 ワークラボ フリーWiFi、コピー機完備のワークスペース。どなたでもご利用できます。プライベートな空間で集中してお仕事ができます。	体育館 スポーツや健康教室など、地域内外問わず、どなたでもご利用できます。	101 とちの食堂 開放感抜群の大きな窓がある食堂です。ランチにはラウンジ、午後はコーヒーでくつろぎ、夜は楽しくお酒が飲めます。	102 コミュニティラウンジ スポーツの後のランドリーの待ち時間など、どなたでもご利用できるくつろぎスペースです。	103 とちのランドリー おしゃべり便利なコインランドリーです。ご自宅では洗えないマットや羽毛布団など、大きなものも洗えます。	105 会議室（たかお） 各種会議や打ち合わせにご利用できるスペースです。地域の寄り合いはもちろん、販売を伴うイベント利用も可能です。
301 宿泊室 教室を改修した畳のお部屋です。大浴場2部屋ずつあり、40～50名程お泊りいただけます。（料金や条件などはお問合せください）	110 更衣室・シャワールーム トレーニングジムなどの利用のための更衣室、シャワールームです。コインロッカー完備で、男女別で各ブースのシャワールーム（有料）も設置しています。	113 スタジオ 72畳程の広いフロアです。1つの壁には鏡も設置されています。ヨガやダンス、体操などにご利用できます。	114 施設ファッドネスSent. Sent.は地域の「健康」みたいなフィットネスクラブです。「運動をする」だけでなく、地域のつながりが生まれる場所です。	106 会議室（2年教室） 小学校の教室をそのまま活かした、自由な用途で使える同じ会議室です。	202 自習室 仕事や勉強などにご利用できます。電源やロッカー、複合機もお使いいただけます。（学生の利用は無料です）
旧三水第二小学校 食・農・しごと創りがテーマ		111 更衣室・シャワールーム トレーニングジムなどの利用のための更衣室、シャワールームです。コインロッカー完備で、男女別で各ブースのシャワールーム（有料）も設置しています。	113 スタジオ 72畳程の広いフロアです。1つの壁には鏡も設置されています。ヨガやダンス、体操などにご利用できます。	114 施設ファッドネスSent. Sent.は地域の「健康」みたいなフィットネスクラブです。「運動をする」だけでなく、地域のつながりが生まれる場所です。	106 会議室（2年教室） 小学校の教室をそのまま活かした、自由な用途で使える同じ会議室です。
iiCONE EAST		111 更衣室・シャワールーム トレーニングジムなどの利用のための更衣室、シャワールームです。コインロッカー完備で、男女別で各ブースのシャワールーム（有料）も設置しています。	113 スタジオ 72畳程の広いフロアです。1つの壁には鏡も設置されています。ヨガやダンス、体操などにご利用できます。	114 施設ファッドネスSent. Sent.は地域の「健康」みたいなフィットネスクラブです。「運動をする」だけでなく、地域のつながりが生まれる場所です。	106 会議室（2年教室） 小学校の教室をそのまま活かした、自由な用途で使える同じ会議室です。
iiCONE WEST		111 更衣室・シャワールーム トレーニングジムなどの利用のための更衣室、シャワールームです。コインロッカー完備で、男女別で各ブースのシャワールーム（有料）も設置しています。	113 スタジオ 72畳程の広いフロアです。1つの壁には鏡も設置されています。ヨガやダンス、体操などにご利用できます。	114 施設ファッドネスSent. Sent.は地域の「健康」みたいなフィットネスクラブです。「運動をする」だけでなく、地域のつながりが生まれる場所です。	106 会議室（2年教室） 小学校の教室をそのまま活かした、自由な用途で使える同じ会議室です。
いいづなベルセロフィールド 全面人工芝のサッカーグラウンドです。少年用8人制のコートサイズで、気持ちよくプレーできます。		111 更衣室・シャワールーム トレーニングジムなどの利用のための更衣室、シャワールームです。コインロッカー完備で、男女別で各ブースのシャワールーム（有料）も設置しています。	113 スタジオ 72畳程の広いフロアです。1つの壁には鏡も設置されています。ヨガやダンス、体操などにご利用できます。	114 施設ファッドネスSent. Sent.は地域の「健康」みたいなフィットネスクラブです。「運動をする」だけでなく、地域のつながりが生まれる場所です。	106 会議室（2年教室） 小学校の教室をそのまま活かした、自由な用途で使える同じ会議室です。

フォーラム

れました。また、まちづくり会社の「株式会社カンマッセいづな」を設立し、指定管理者とすることとなりました。

4 いづなコネクトEASTの概要

いづなコネクトEASTは2020年（令和2年）7月に「食・農・しごと創り」をテーマとした複合施設としてオープンしました。設置目的としては、近隣地域や都市圏との交流を促進するため、プロフェッショナル人材の地方還流、「しごと創り」を促すような学びのプログラムとともに、地域内外の幅広い人々と自由に交流・創発が起るような拠点を整備することで企業や雇用を地方へと促すことを進めるといふものです。

そのリニューアルの総事業費は、約3億2500万円で、地方創生推進交付金が活用されました。

施設は3階建てで、旧教室等をうまく活用し、さまざまな機能が付加されています。1階は、食をテーマとし、食堂や地元の林檎を活かしたアップルパイ等のスイーツも提供する「泉が丘喫茶室」があり、コミュニティラウンジやブックラウンジも設けられ、地元住民と来訪者の交流の場となっています。また、林檎を醸造しシードルとするその名も「林檎学校醸造所」とその直営ショップの「RINGGOTO」もテナントとして入っています。

2階・3階は「しごと創り」をテーマとし、創業支援や各種イベントの場となる「ツクリバLABO」、「ツクリ

BALOONGE」、「ツクリバWORK ROOM」があり、テレワークスペースの「ツクリバOFFICE」も設けられました。また、それ以外の場所はテナントを入れており、東京の企業のサテライトオフィスも入居しています。テナントとして入居したTOPPAN株式会社は、飯綱町の廃校活用初期段階から関わっており、ICT部門のサテライトオフィスを設け、地域と共同して地域活性化に取り組んでいます。

また、体育館にはトレーニングマシンのおかれたパワリハビリテーションルームと児童クラブが設置されています。

いづなコネクトEASTの核となっているのが「ツクリバ」の活動です。ツクリバは「自分を活かしたしごとを作る場」であり、自分の好きを活かして地域にいいしごとをつくるサポートとして、企画の相談などを行っています。また、「しごとの学校」として「小商い講座」等自分の好きを仕事としていくための講座やデザイン等しごと創りに必要なスキルを学ぶ講座などさまざまな講座が行われています。その運営には指定管理者となっている「カンマッセいづな」と常駐する地域おこし協力隊が携わっています。

また、2024年には、いづなコネクトEASTの施設も活用し、JR東日本、アシックス、奈良県立医科大学等産学官が連携し、「農業」、「スポーツ」、「移動」、「デジタル」をテーマに

飯綱町の未来のまちづくり

機会づくり

食・農・しごと創りをテーマの複合施設

いづなコネクトEAST



▲ チャレンジラボ



▲ ワークラボ

フォーラム

首都圏に居住する人にモニターとなってもらい、飯綱町で農業体験をしてもらうツアーを開催し、地域共創の実証実験を実施し、関係人口の拡大を図る事業も実施されました。また、いいづなコネクトWESTでは、施設全体を使用したイベントも開催され、「いいコネ夏マルシェ」、「ごどもXmasマルシェ」等いいづなコネクト主催のイベントのほか、外部団体やテナントとして入居している企業等の主催するイベントも実施され、地域内外から多数の来客が訪れ、利用が進んでいます。

5 いいづなコネクトWESTの概要

いいづなコネクトWESTは2021年（令和3年）に「自然・スポーツ・健康」をテーマとした複合施設として全館オープンしました。町の魅力である自然の中での豊かな暮らしや観光資源を最大の要素として位置づけ、自然・スポーツ・健康をテーマにさまざまな体験事業を展開し情報発信していくことで町への観光誘客や交流・関係人口増加につなげていくことを目的としています。WESTの整備には校舎本体を約2億5000万円で改修を行い、地方創生推進交付金等が活用されました。また、校庭を人工芝のサッカー場とし、1億5000万円で改修しましたが、これにはtoto助成金が活用されました。

WESTの特色としてはサッカー場や体育館を利用して合宿等が実施できるよう校舎の3階を最大50名程度の収容可能な宿泊施設に改修しました。また、音楽室をスタジオに改修しヨガ、ダンス、体操等のレッスンも可能な場として整備しました。さらにトレーニングジムをテナントに入れ、「廃校フィットネスSent.」としてオープンさせました。

さらに施設利用者だけでなく、町民も利用可能な食堂やコインランドリーも設置されました。そのほか、コワーキングスペースや会議室が設けられたほか、残りのスペースは貸室として地域で活動する企業等のテナントが入居しています。

サッカー場は、いいづなパルセイロフィールドとして長野をホームタウンとするJリーグのプロサッカーチーム「AC長野パルセイロ」と連携し、共催でスポーツイベントを開催しています。

WESTでは、スポーツ系のイベントが多く開催されています。また、合宿利用も増加しており、企業研修や卒業旅行、吹奏楽部の合宿等、多様な用途で利用されています。

6 株式会社カンマッセいいづなについて

飯綱町の未来のまちづくり

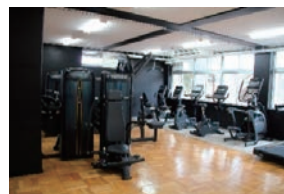
機会づくり

自然・スポーツ・健康をテーマの複合施設

いいづなコネクトWEST



▲コインランドリー



▲廃校フィットネスSent.

飯綱町の未来のまちづくり

人づくり

関係づくり

機会づくり

株式会社カンマッセいづなの設立

経過

□循環型の地域社会の実現、町の活性化を進める

突破口

□廃校舎の再活用による新たな拠点の創出と、その施設の運営を担うまちづくり会社の創設が不可欠

□町内外の事業者、町民、専門機関などの皆さまと検討を進める

平成30年（2019年）5月9日

主に町民6名が
発起人（出資）

カンマッセいづな 設立！



理念とミッション

□「カンマッセ」の意味

良い意味で「かき混ぜ・かき回す」ことで町を活性化させたいとのことから、社名に想いを込め、「カンマッセいづな」とした。

□経営理念

「飯綱町をカッコいい田舎にする」とし、最大の使命を「廃校を活用した地域活性化」と位置づける

□主な業務等

しごと創りの支援、町や町内事業者等を対象としたBPO等の受託事業、地域活動等の促進の支援など

廃校活用 + **ソーシャルビジネス** (しごと創りの支援等) + **まちづくり全般の社会活動**

町の未来を創るシンクタンク機能や人材育成を進める

「まちづくりのエンジン」を目指す！

画や両施設の食堂等の運営も行っています。また、飯綱町のふるさと納税の受託も行うほか、移住体験ツアーの実施等町からの事業受託を行っているます。カンマッセとは北信地方の方言の「かんます（いかさませる）」からとったもので、古きと新しきを、地元民と移住者を、あらゆるものをかき混ぜて、ともに私たちのまちを育てていくこと、そんな思いを込めたものとのことです。従業員も事業拡大に伴って、地元出身者だけでなく、移住者も増えており、また、地域おこし協力隊とも連携して事業を実施しています。

7 いづなコネクト設置後の効果

廃校活用を核としながら、しごと創りの支援等のソーシャルビジネスやまちづくりのための社会活動等、民間ならではの柔軟性を活かしながら飯綱町のまちづくりに貢献していることが感じられました。

いづなコネクトEASTでは、来場者が増加傾向にあり、主催する講座等への参加者も増えていきます。また、企業と連携したイベントも実施され、長野県内でスーパードール等を展開する綿半とも連携し「綿半まつり」を開催したところ2、500人を超える方々が来場しました。

また、入居している企業が働く場となっているだけではなく、例えばTOPPAN ICT KOBOROはICT技術を活かして地域づくりに関わるなどテナントとのつながりが現れ新しい動き

きとなってきています。いづなコネクトWESTでは、スポーツ団体等の合宿により来訪者が増加するとともにAC長野パルセイロとの共催イベントの実施等によりスポーツ交流の場としての認知度を高めています。

地方においては、各地で高齢化と人口減少が進み、地域の活性化を図ろうとしても、人材不足が避けられず、施設を整備したとしても町職員のみでその運営を行っていくことは困難です。飯綱町では、両施設とも、管理・運営を新たに設立されたまちづくり会社の株式会社カンマッセいづな、地域おこし協力隊、入居しているテナント企業をはじめとする民間企業とが共創して事業を行っていることが特徴であり、単に廃校の施設を利用するということにとどまらず、新たな交流と地域の活性化につながる施設となりました。特にさまざまな講座やイベント等の企画をカンマッセいづなが行うことにより、地域住民の交流の場としてだけでなく、町外からの来訪者の増加にも寄与しています。

今後、さらに創業の場や関係人口とのつながりを深める場となり、地域振興の拠点となっていくことが期待されます。

全国町村会 前次長（政務担当）
角田 秀夫

情 報

新任都道府県町村会長の略歴

山形県町村会は令和7年5月20日の総会で次の通り会長を選出した。

（5月20日就任）

山形県町村会長

東田川郡三川町長

阿部 誠

昭和27年9月13日生



【町村長としての当選回数】7回

【町村長に就任するまでの経歴】

▽平成7年8月～14年9月三川町議会議員▽平成15年2月三川町議

【町村会関係の経歴】▽令和元年8

月荘内地方町村会長▽令和3年5月山形県町村会副会長

【主な業績】▽三川町立東郷小学校

及び三川町立三川中学校建設▽子育て交流施設「テオトル」建設▽出産

祝金制度の導入▽高校生以下の医療費無料化▽赤川河川緑地ふれあい広

場「バルク赤川」整備

【趣味】ゴルフ

【家族】妻

福島県町村会は令和7年6月3日の

定期総会で次の通り会長を選出した。

（6月3日就任）

福島県町村会長

南会津郡下郷町長

星 學

昭和22年1月12日生



【町村長としての当選回数】3回

【町村長に就任するまでの経歴】

▽下郷町建設課長・助役・副町長▽平成25年9月下郷町長

【町村会関係の経歴】▽平成29年5

月～令和元年5月監事▽令和元年5月～3年6月理事▽令和5年5月～

7年5月監事▽令和7年5月～理事

【主な業績】▽国道289号南倉沢トンネルの開通、会津縦貫南道路な

ど、各種道路網の整備・促進▽大川ふるさと公園パークゴルフ場のオー

ブン▽町営住宅の整備▽「高齢者タ

クシー助成事業」や「入学祝金支給」、

「学校給食費の無償化」など子ども

から高齢者まで、切れ目のない支援

【趣味】スポーツ・読書

【家族】妻

山梨県町村会は令和7年5月8日

の町村長会議で次の通り会長を選出した。

（6月1日就任）

山梨県町村会長

南巨摩郡身延町長

望月 幹也

昭和34年7月18日生



【町村長としての当選回数】3回

【町村長に就任するまでの経歴】

▽平成26年4月山梨県総務部市町村課長▽平成27年4月～28年8月身延

町副町長▽平成28年10月身延町長

【町村会関係の経歴】▽令和元年6月～3年5月山梨県町村会副会長

【主な業績】▽特産品「あけぼの大豆」

の6次産業化事業、県内農林水産物

で初の地理的表示（GI）保護制度

登録▽下部温泉郷・健康づくりのシ

ンボル「スポーツ健康増進施設しも

べの湯」建設▽観光の新たな目的地

道の駅にしじま和紙の里「かみすき

パーク」オープン▽町産材・県産材

を使用した「身延中学校」新校舎建

設▽子育て支援事業（18歳までの医

療費無料化・給食費、修学旅行費の

全額補助・保育所等入園支度金・小

中学校入学支度金など）

【趣味】旅行、ツーリング、酒蔵巡

り

【家族】妻

◎町村週報ご購読のご案内◎

「町村週報」を毎号ご自宅や職場にお届けいたします。ご購読を希望される方は、はがき、FAXまたはEメール（kouhou@zck.or.jp）にて、全国町村会広報部までお申し込み下さい。

★年間購読料1,500円（送料込み）

★請求書を送付いたしますので、折り返しお振り込み下さい。

新しい地方経済・生活環境創生交付金の活用事例の紹介 内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局

町村週報第3321号(6月2日発行)では、新しい地方経済・生活環境創生交付金のうち第2世代交付金の制度概要と令和7年度第2回募集について、ご案内しました。第2回募集は終了しましたが、今後の募集に向けた相談は、年間を通して受け付けておりますので、お気軽に内閣官房の各都道府県担当までご連絡ください。

また、6月13日に閣議決定された「地方創生2・0基本構想」において、「地方創生の好事例の普遍化」を掲げています。

地方創生2・0では、地方創生1・0を通して各地で生まれた優良な事例や、新たに創出される好事例を点で終わらせず、面へと広げる「普遍化」を進めていくことが重要となります。そのために、全国の好事例をご紹介します。

今回は、岡山県奈義町です。

1 はじめに

奈義町の合計特殊出生率は2019年に2・95を達成し、2018年から2022年の5年平均でも2・32と高い水準を維持しています。岡山県が作成した「少子化要因見える化ツール」によると、奈義町の出生率を押し上げている要因として、自己効力感や結婚・子育てに対する意識などウェルビーイングに関するすべての項目が平均を上回っていること、また、人々のつながりに関する地域コミュニティの指標についても、すべての項目で平均を上回る高い水準となっていることがあります。

奈義町の新しい地方経済・生活環境創生交付金事業では、KPIの一つに合計特殊出生率を設定しています。このKPIを達成するため、直接的な子育て支援だけでなく、生涯活躍の視点から住民主体で全世代が活躍し、世代を超えた交流

や助け合いを創出しています。

また、子育て期の孤立を短期的な就労機会の提供や自主保育などの取組により解消し、社会とのつながりを作る施策を実施するなど、多角的に出生率の向上・維持という目標に取り組んでいます。

2 交付金事業の概要

奈義町が実施している交付金事業名称は「SDGs×奈義町版全世代全高活躍のまちⅡ持続可能な永続できるまち事業」です。この事業では、生涯活躍による自己肯定感や高齢者の生きがい創出、子育て支援などの施策が有機的に連携し、住民の満足度向上を通じて合計特殊出生率の向上・維持と転入者の増加をめざしています。

本稿では、計画の中から特に子育てと生涯活躍、世代を超えた助け合いに焦点を当てた施策をご紹介します。

(1) 奈義町版ネウボラ

まず、子育てのサポート体制強化として、奈義町版ネウボラ事業があります。この事業では、奈義町子育て等支援施設「なぎチャイルドホーム」を拠点に、地域住民や高齢者、専門職など多様な方々が継続的に子育てに関わり、継続的な産後ケアや地域ぐるみの子育て支援を実現しています。

また、特色ある取組として自主保育だけがあります。この事業では、子育て中の保護者が交代で子育て支援員とともに保育を担当します。これにより、一時的な育児の余裕だけでなく、保育のノウハウ習得や自然な子育てコミュニティの形成にもつながっています。

(2) 農業コンビニ

農業コンビニ事業は、しごとコンビニ事業を農業分野に拡充したものです。しごとコンビニ事業は、出産・子育て期に仕事から離れ、家庭での子育てに専念する中で感じる孤独感への対策として、子育て世代のニーズから始まりました。民間事業者等から受託した短時間の仕事を、登録者とマッチングする仕組みで、現在では348名が登録し、若年層から高齢者まで、それぞれの得意分野で活躍しています。

農業コンビニは、繁忙期に一時的な人手を必要とする農家のニーズに応えるもので、しごとコンビニ事業のスキームを農業分野へも拡大して実施をしている事業です。農業未経験の子育て世代や高齢者も参加し、全世代で農業の人手不足解消に貢献しています。

(3) まるごとデジタル

奈義町版まるごとデジタル化事業は、

デジタルデバイス対策事業で、平日常時開設のスマホよろず相談所の設置や、地域住民によるスマホ講座を展開しています。スマホ講座はしごとコンビニの仕組みを活用し、スマートフォンに詳しい若年世代や子育て中の母親が講師を務めています。これにより、若者が高齢者を支援する機会が生まれています。

これらの事業により世代を超えた相互支援の好循環が生まれています。

3 おわりに

地域の風土や文化、自然環境はコミュニティと深く結びつき、地域固有の特性を育んでいます。奈義町は、この地域特性と向き合い、その強みを伸ばしてきた結果、高い合計出生率という成果につながりました。

新しい地方経済・生活環境創生交付金は、使い勝手が向上し、事業規模も大幅に拡充されています。各地域が特性や強みを活かし、自主性と創意工夫に基づく独自の取組を展開する上で、活用を検討すべき効果的な交付金制度です。奈義町としても今後も積極的に活用し、地方創生の実現をめざしていきます。

岡山県奈義町情報企画課 花房 宏亮

【お問い合わせ先】

内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局

電話 03-6257-1416

メール chiki:sosei-senko@cao.

go.jp

情 報

地方創生2.0

交付金を活用した、次世代の地方創生へ

岡山県奈義町

SDGs × 奈義町版全世代全員活躍のまち＝持続可能な永続できるまち事業
～地域住民が主役の暮らしやすく、永続できるまちづくり～



住民が主体となって事業を担うことで
世代を超えた助け合い、全員活躍を実現

まるごとデジタル

世代を超えた
デジタルデバйд対策

- ・ 地域住民によるスマホ講座（料金無料：年間24回）
- ・ 子育て世代が高齢者に使い方をレクチャー
- ・ いつでもスマホ相談ができるスマホよろず相談所を常設
- ・ 交流を通じて地域の絆も深まります

奈義町版ネウボラ



地域ぐるみの子育て

- ・ 一人ひとりに寄り添った子育て支援制度
- ・ 保健師・助産師など専門職による継続的なサポートや地域ぐるみの子育て
- ・ 合計特殊出生率2.25を達成！（R3-R5平均）

農業コンビニ



農業も全員活躍で

- ・ 「しごとコンビニ」事業を発展！
- ・ 登録型で自由に働けるシステムで、農業分野の人手不足をサポート
- ・ 高齢者や主婦が地域の担い手に！
- ・ 登録者348名、受注実績948件（R6）（農業分野以外も含む）

■内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局
電話：03-6257-1416
Eメール：chiiki.sesei-senko@cao.go.jp

内閣官房では、交付金を活用した地方創生の実現のため、都道府県ごとに担当者を配置し、相談体制を構築しています。お気軽に各県の担当者にお尋ねください。

■お問い合わせ先
岡山県奈義町役場 情報企画課
電話：0868-36-4126
Eメール：kikaku@town.nagi.lg.jp

交付対象事業経費 5.3億円（令和3～7年度）



随 想

自然豊かなコンパクトな過疎のまち

鳥取県日野町は、鳥取県西南部に位置し、東西20km、南北12・5km、総面積133・98km²で人口約2600人の中国山地の山あいの自然豊かなコンパクトな過疎のまちです。

まちの観光と生活の両面において、さまざまな魅力を紹介します。

1 日野町の観光スポット

縁起の良い名前を持つ金持(かもち)神社があり、毎年初詣には約2万人の参拝客が訪れます。地元の

広く親しまれています。またおしどりの姿を見ることができる観察小屋

が特急の停車するJR伯備線根雨駅の約300m程の身近な場所にあることも人気の理由の一つです。

日野川には、夏の季節にぴったりのアクティビティもあります。ラフティングです。日野川は清流として有名で、ラフティング愛好者にとっては絶好のスポットです。急流を下るスリルと興奮を味わいながら、美しい景色を楽しむことができます。

日常生活に必要な施設がコンパクトに配置されています。

まず、教育面では、町内に「日野学園」という義務教育学校があり、少人数を活かした小中一貫の教育環境を整備。県立高校「日野高校」は町立保育所とともに日野学園の近くにあり、地域の教育環境が整っており、こどもたちが安心して学べる場所です。

3 医療、買い物

医療面でも地域の総合病院「日野

る根雨駅があり、岡山市や松江市、出雲市方面へのアクセスが便利な環境です。さらに、町営交通としてタクシーやバスも運行しており、町内外への移動も便利です。

5 子育て支援・移住定住

日野町は、自然豊かな環境の中で、子育て支援にも力を入れています。保育所として「ひのっこ保育所」があり、地域のこどもたちが安心して過ごすことができます。病児病後児保育の制度もあり、日野病院との連携もしっかりしています。これにより、子育て世代の支援が手厚く、若い家族にとって非常に住みやすい環境が整っています。また、乳幼児の遊び場として「しいたん広場」が整備されており、こどもたちがのびのびと遊べる空間が提供されています。

さらに、保育料や高校生までの医療費の無償化や住宅整備の補助等、若年層の定住促進に向けて取り組み、町全体で、こどもたちや若年層が暮らしやすい環境を整える努力が続けられています。

6 まとめ

鳥取県日野町は、自然の美しさと充実した生活インフラを兼ね備えた魅力的なまちです。観光で訪れるもよし、定住するもよし、ぜひ一度私どもの町日野町を訪れてみてください。



鳥取県日野町にぜひお越しください

鳥取県日野町長 塔田 淳一

人々はもちろん、遠方からの来訪者の絶えない年間を通じた人気のスポットです。

町内を流れる一級河川・日野川には、毎年冬になると約1000羽のおしどりが飛来します。おしどりは、美しい羽根と仲睦まじい姿から「おしどり夫婦」といった言葉や鳥取県の鳥として知られ、11月ごろに日野町に飛来します。毎年訪れるとてもきれいなおしどりを楽しみにしている来訪者も多く、冬の風物詩として

また、鮎釣りも大きな魅力です。

今秋放送が予定されているNHK連続テレビ小説「ばけばけ」でも注目を集める小泉八雲の作品「骨董」で知られる滝山公園の龍王滝や、明治から大正にかけて活躍した評論家・翻訳家の生田長江の出身地としても知られています。

2 教育もコンパクト

日野町は、生活面でも非常に充実した施設が整っています。町内には、教育、医療、買い物、交通等、

病院」が日野学園の横にあります。

この病院は、地域の医療を支える重要な施設です。また、日常の買い物にはスーパーマーケットがあり、地域の住民の生活を支えています。さらに、移動販売事業が町の委託事業として運営され、主には自動車の運転できない高齢者が安心して生活できる環境が整えられています。

4 交通

交通面では、町内に三つのJRの駅、中でも特急「やくも」が停車す